

横浜カーボンオフセットプロジェクト

市民・事業者による削減活動で約 1,927t-CO₂の二酸化炭素を削減しました！
～本事業に応募いただいた市民・事業者の皆さまの削減活動により排出量を削減できました～

横浜市では、2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama（ゼロ・カーボン・ヨコハマ）」を目指す取組のひとつとして、2018年7月以降、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「横浜カーボンオフセットプロジェクト」に取り組んできました。この取組は、大会で発生する二酸化炭素（CO₂）と同等のCO₂削減活動を、市民・事業者に広く呼びかけるものです。

大会の横浜市内開催に伴い排出されたCO₂排出量は、本事業に応募いただいた市民・事業者の省エネ等取組による削減量により、差し引き排出ゼロとなりました。

1 東京2020大会に向けた市民・事業者による削減活動に伴い削減された二酸化炭素量

取組期間中（2018年7月～2021年9月）の市民・事業者による削減活動により約 **1,927t-CO₂**^{※1}のCO₂を削減しました。

(1) 市民部門

参加人数 : のべ111,790名（うち学校部門 102,869名）

削減量合計 : 約353t-CO₂

(2) 事業者部門

参加事業者数 : 10者

削減量合計 : 約1,574t-CO₂

※1：横浜カーボンオフセットプロジェクトを実施した全期間で削減された二酸化炭素量は約2,235t-CO₂ですが、そのうち308t-CO₂はラグビーワールドカップ2019™のオフセットに活用しました。

実績の詳細は「横浜カーボンオフセットプロジェクト」ウェブサイトに掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/ycop/jisseki.html>

2 東京2020大会横浜市内開催に伴い排出された二酸化炭素量

大会の横浜市内開催に伴い排出された二酸化炭素量は、約 **1,383t-CO₂** となりました。このCO₂排出量は、上記1の本事業に参加した市民・事業者による削減量により、差し引き排出ゼロとなりました。

(1) 対象 : 横浜市内で開催された野球、ソフトボール、サッカー競技^{※2}

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| ① 大会関係者(主催者・スタッフ・ボランティア等)の移動 | ② 選手の移動・宿泊 |
| ③ 競技場での水道使用 | ④ 競技場の廃棄物処理 (横浜市による算出) |

※2：横浜市内競技場での電力使用についてはハマウィングのグリーン電力証書にて再エネ化しており、排出量に含めていません。

- | | | |
|----------|--------|------------------------|
| (2) 開催期間 | 野球 | 2021年7月29日(木)～8月7日(土) |
| | ソフトボール | 2021年7月24日(土)～7月27日(火) |
| | サッカー | 2021年7月22日(木)～8月7日(土) |

お問合せ先

温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長 岡崎 修司 Tel 045-671-2636